

開園86周年を迎える 六甲高山植物園 昭和天皇に献上された花、エンコウソウが見頃です

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社 100%出資)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、「エンコウソウ」が見頃を迎えました。

当園のエンコウソウにつきましては、1981年5月に当園へ行幸された昭和天皇陛下が、満開のエンコウソウ群落をご覧になった際、特に関心を示され、帰京後、宮内庁を通じて譲渡要請を受けたことから、同年、30株を皇居吹上御苑へ献上しました。今年のエンコウソウの見頃は5月中旬までの見込みです。



◆エンコウソウ(キンポウゲ科)

北海道～本州の山地の湿地や溪流沿いに群落をつくる多年草です。茎は直立せず50cmほど横に這って、その先に花をつけるのが特徴です。株を中心に四方に伸び広がる茎をサルの腕に見立てて「猿猴草」と書きます。

皇室と縁のある六甲高山植物園

1933年に開園した六甲高山植物園は今年の5月4日で開園86年を迎えます。その間には、天皇家御三代にわたる行幸・行啓をはじめ、5回の皇室関係者によるご来園の栄誉を受けています。1958年10月29日には、当時皇太子だった明仁殿下がお越しになり、園内の池に架かる橋のお渡り初めをされました。これを記念して「プリンス・ブリッジ」と名付けられた橋は2度の架け替えを行い、現在は3代目です。

年月日	ご来園された皇族	備考
1958年10月29日	明仁殿下(現天皇陛下)	プリンス・ブリッジ渡り初め
1971年11月10日	徳仁殿下(現皇太子殿下)	
1981年 5月25日	昭和天皇	エンコウソウ献上
1990年 8月 4日	高円宮殿下	
2008年 8月 4日	秋篠宮文仁親王同妃両殿下、眞子内親王殿下	



1958年10月29日 明仁殿下 行啓



1971年11月10日 徳仁殿下 行啓

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生～)620円 / 小人(4歳～小学生)310円

【開園期間】～11/24(日) ※9/7(木)、12(木)休園 【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了)